

## 第三部 コバルト調査に関して(CRTの書き方)

### 本資料に関する注意事項

本資料は、RMI(旧CFSI)発行の CRT (Cobalt Reporting Template) 帳票の調査背景と書き方を示したものですが、JEITAの「責任ある鉱物調達検討会」において、わかる範囲で纏めたものであり、CRT記載にあたっては、原文を確認し、個社の判断で実施ください。

本CRTの各設問では、逐一コバルトと限定していない設問もありますが、現CRTでは、全てコバルトに限定した設問であるをご認識ください。

# 目次

1. コバルトサプライチェーン調査の背景と  
CRT(コバルト調査帳票)を用いた調査概要
2. CRT記入要領  
Declaration, Product List,  
Cobalt Smelterの定義, Smelter List  
RMIウェブサイトの活用方法

# 1. コバルトサプライチェーン調査の背景

米国DF法のような法律・規制はないが、コバルトの人力採掘における安全でない労働環境や児童労働に対する懸念が浮上したことが発端。

RMIのWEB上に以下のような説明があります。

<http://www.responsiblemineralsinitiative.org/emerging-risks/cobalt/>

コンゴ民主共和国(DRC)は、世界最大のコバルト生産国であり、全世界埋蔵量の50%以上を保有している。コバルトは、電気自動車、携帯電話、ノートパソコンに不可欠なリチウムイオン電池に使用されており、コバルト需要は今後数年で大幅に増加すると予想されている。

コバルトは、機械及び人力により採掘されるが、最近の報告では、安全でない労働環境や児童労働に対する懸念が浮上している。

2017年初め、RMI(旧CFSI)メンバーは、「コバルトの責任ある調達、特に、DRCのコバルト採掘における児童労働事例に関連するリスク」に焦点を当てたワーキンググループを設立。そこを通し、各企業は、コバルトサプライチェーンの「透明性」を高めると共に、サプライチェーン関係者と協力してコバルトの責任ある調達を推進している。

# 1. CRTを用いた調査概要

RMIは、コバルトサプライチェーンにおける要所(製錬所)の特定やデューデリジェンス情報収集のため、パイロット版 CRT (Cobalt Reporting Template) を作成。

試験運用の目的は、利用者数把握、CRT向上のための情報収集。関心ある企業は、各社独自のプログラムに従い、コバルトサプライチェーン内で利用可能。

- ・パイロットフェーズ: 2018/3/1～2018/8/31
- ・フィードバック受付期間: 2018年9月～10月
- ・コバルト帳票継続要否決定: 2018年12月まで
- ・報告対象期間: 2017年1月～2017年12月を推奨
- ・帳票に付随するツール:
  - ウェブページ(試験運用の説明、アンケートのリンク、適宜修正予定のFAQ(Frequently Asked Questions))
  - コバルト製錬所リスト
  - CRT帳票集計ツールの提供なし

# 1. CRTを用いた調査概要 (CMRTとCRTの比較)

項目	CMRT	CRT
背景(法律)	米国DFA1502条	規制遵守要件なし 人権問題等への世界的関心の高まり (DRC Co鉱山での非安全性・児童労働への懸念)
被規制者	米国上場企業	NA
調査対象	3TG (W, Ta, Sn, Au)	コバルト (Co)
対象地域	DRC及び周辺9ヶ国	CAHRA(紛争地域および高リスク地域)
リスク	武装勢力の資金源か否か	OECD ガイダンス付属書II (P8参照)
2018年版	Rev.5.11	Rev.1.0 (パイロット版) 利用者数把握等の情報収集
罰則規定	記載なし	NA
フェーズ	本格使用	パイロット(アンケート的)

## 2. CRT記入要領 (概略)

CRT (Cobalt Reporting Template) は次の8つのシートから成る  
(Pilot版は、英語と中国語のみ選択可能)

日本語には対応していません

- Revision : 改訂記録
- Instruction : 背景、記入要領の説明
- Definitions : 用語の定義
- Declaration : 会社情報、設問1～6、質問A～I <記入必須>
- Smelter List : 製錬所記入表 <記入必要な場合有<sup>#1</sup>>
- Checker : 記入不足などのチェック機能
- Product List : 対象となる製品リスト記入表 <記入必要な場合有<sup>#2</sup>>
- Smelter Look-up : 製錬所(業者)リスト

#1 : Declaration設問1が“Yes”となる場合は記入必須

#2 : 申告範囲(Declaration 9行目)が“C: Product Level”の場合は記入必須

(注)CRTでは、CMRTと異なり、申告範囲の選択肢「B」と「C」が入れ替わっているが、入力要否判定のハイライトが修正されておらず、「B」を選ぶと10行目が記入不要の黒反転に、「C」を選ぶと記入を要求する黄色になる。「B」の場合、黒反転を気にせず10行目にScope内容を記載し、「C」の場合は、そこに「See Product List」などと記載すれば良い。

Checkerシートで赤くなっている項目は、記入必須。  
Smelter Look-upは、CRT発行時の業者名/別名一覧表。

## 2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

1) Is any of the cobalt intentionally added or used in the product(s) or in the production process?

1) 製品自体や製造過程で、コバルトが意図的に添加又は使用されていますか？

**Yes** : コバルトが、製品の仕様や機能上、又は生産プロセスで必要なため意図的に添加又は使用している場合は、含有量に関係なく「Yes」となる。

**No** : コバルトを意図的には添加又は使用していない場合は、不純物として混在したとしても、「No」となる。

**Unknown** : 意図的な添加、使用が不明な場合は、「Unknown」とする。

1. 収集したCRTの回答に1つでも「Yes」があれば、貴社の回答は「Yes」になる。
2. 収集したCRTの回答が全て「No」であれば、貴社の回答は「No」になる。
3. 上記以外の場合、貴社の回答は「Unknown」になる。

設問1の回答が「Yes」になる場合は、以降の設問(2～6, A～I)への回答が必須になる。

## 2. CRT記入要領 (Declaration 1~6)

2) Do any of the smelters in your supply chain source these mineral from a Conflict-Affected and High-Risk area?  
(OECD Due Diligence Guidance, see definitions tab)

2) 貴社サプライチェーン内の製錬業者のいずれかが、紛争地域および高リスク地域(CAHRA)を原産地としていますか？  
(OECD DDガイダンス、Definitionsシート参照)

CAHRAについては、次ページ参照

**Yes :** CAHRAを原産地としている場合。(Comments欄に具体的に記入)

**No :** CAHRAを原産地としていない場合。

**Unknown :** CAHRAを原産地としているか不明な場合。

(Instructionsに、「Unknownの選択も許容可能な応答」と記載あり)

**DRC or adjoining countries only :** DRC及び周辺国のみを原産地としている場合。

収集したCRT回答が多岐に亘る場合、右表を参考に、コメント欄も活用して自社回答を作成下さい。

DRC+9 : DRC or adjoining countries only

収集したCRT回答				自社CRT回答	
Yes	No	Unknown	DRC+9	Answer	Comments
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Yes	including DRC+9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		Yes	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	Yes	including DRC+9
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Yes	including DRC+9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			Yes	
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		Yes	
<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	Yes	including DRC+9
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		Unknown	
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	DRC+9	
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	DRC+9	including Unknown
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	DRC+9	including Unknown

## 2. CRT記入要領 (CAHRAの定義)

**CAHRA (紛争地域および高リスク地域) の定義:**

OECDのDDガイダンス付属書Ⅱにおける **C**onflict-**A**ffected and **H**igh-**R**isk **A**rea

紛争地域および高リスク地域は、武力による紛争、広範にわたる暴力、もしくは人々に危害が及ぶその他のリスクの有無によって識別される。

**武力による紛争**は様々な形をとることがあり、例えば、2カ国ないしそれ以上が関与することもあれば、解放戦争、反乱、内戦などによることもある、国際的もしくは非国際的対立などである。

**高リスク地域**には、政情不安や抑圧、制度上の欠点、不安定などが見られる地域や、国内のインフラが崩壊した地域、さらに暴力が広範におよんでいる地域などがある。これらの地域では広範におよぶ人権侵害や、国内法または国際法違反が見られる。

地域の特定に役立つよう、OECDやEUにおいて、CAHRAハンドブックを準備中。

**実際にどこの地域が該当するのかは、個社判断**となる。

## 2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

3) Does 100 percent of the cobalt originate from recycled or scrap sources?

3) コバルトは、全て、再生利用品又はスクラップを起源としていますか？

- Yes :** 再生利用品又はスクラップ起源から100%調達されている場合。  
**No :** 一部でも、天然資源(採鉱された資源)から調達されている場合。  
**Unknown :** 再生利用品又はスクラップ起源からの100%調達か不明の場合。

収集したCRTの回答全てにおいて、「Yes」としてなっている場合、貴社の回答も「Yes」となる。  
1社でも「No」があれば、貴社の回答は「No」となる。

## 2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

4) What percentage of relevant suppliers have provided a response to your supply chain survey?

4) サプライチェーン調査に回答した関連するサプライヤーは何パーセントですか？

調査すべきサプライヤーから回収した割合に従って、選択肢から選ぶ。

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| - 100%             | - 100%   |
| - Greater than 90% | - 90% 超  |
| - Greater than 75% | - 75% 超  |
| - Greater than 50% | - 50% 超  |
| - 50% or less      | - 50% 以下 |
| - None             | - なし     |

## 2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

5) Have you identified all of the smelters supplying the raw material(s) to your supply chain?

5) 貴社のサプライチェーンに原材料を供給する製錬業者を全て特定しましたか？

**Yes :** サプライチェーン上の全ての製錬業者を特定した場合。

**No :** サプライチェーン上の1ヶ所でも製錬業者を特定できていない場合。

**Unknown:** サプライチェーン上の全ての製錬業者を特定したかどうか不明な場合。

下記4項目を全て網羅している場合のみ、「Yes」と回答できる。

- ・貴社が調査対象とする全ての会社からCRTを回収している

(=**自社の設問4**)の回答が“100%”となる)

- ・回収した全てのCRTの設問4)の回答が“100%”と回答している

- ・回収した全てのCRTの設問5)の回答が“Yes”と回答している

- ・回収した全てのCRTの設問6)の回答が“Yes”と回答している

なお、DDの結果で、製錬業者が全て特定された場合もある。

## 2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

6) Has all applicable smelter information received by your company been reported in this declaration?

6) 貴社は受領した該当する全ての製錬業者情報を、この申告で報告していますか？

**Yes :** 受領した製錬業者情報を、貴社が全て報告している場合。

**No :** 受領した製錬業者情報の一部でも、貴社が報告していない場合。

**Unknown:** 不明な場合。(この選択肢を選ぶことはない筈)

通常は、「Yes」回答かと思いますが、サプライヤーとの守秘義務などの理由で一部でも貴社が情報を報告できない場合は、「No」となります。

## 2. CRT記入要領 (Declaration A~I)

A. Have you established a publicly available cobalt sourcing policy?

A. 公に利用可能なコバルト調達方針を確立しましたか？

**Yes** : 確立している場合。

**No** : 確立していない場合。

B. Does your policy cover, at a minimum, all risks in the OECD Due Diligence Guidance Annex II Model Policy, as well as all forms for child labor?

B. 貴社方針は、最低限、OECDデューデリジェンスガイダンス付属書Ⅱの全てのリスク、及び全ての形態の児童労働をカバーしていますか？

**Yes** : カバーしている場合。

**No** : カバーしていない場合。

「**全て**の形態の児童労働」は、次期CRT改訂版では、「**最悪**の形態の児童労働」に修正されると、FAQに掲載あり。

## 2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

C. Have you implemented due diligence measures for the raw materials in the declaration scope indicated above?

C. 上記の申告範囲にある原材料について、デューデリジェンス対策を実施していますか？

Yes : 対策を実施している場合。

No : 対策を実施していない場合。

D. Do you require suppliers to exercise due diligence over the cobalt supply chain in accordance with the OECD Due Diligence Guidance?

D. 貴社は、サプライヤーに対し、OECDデューデリジェンスガイドンスに従って、コバルトサプライチェーンに対するデューデリジェンスを実施することを要求していますか？

Yes : 実施を要求している場合。

No : 実施を要求していない場合。

## 2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

E. Do you require your direct suppliers to source cobalt from smelters whose due diligence practices have been validated by an independent third party audit program?

E. 貴社は、直接サプライヤーに対し、独立民間監査会社の監査プログラムによりデューデリジェンス業務が認証された製錬業者からコバルトを調達することを要求していますか？

**Yes :** 認証された製錬業者からの調達を要求している場合。

**No :** 認証された製錬業者からの調達を要求していない場合。

**Yes, when a third-party audit is available :**

第三者監査が可能になった時に要求する場合。

## 2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

F. Do you require smelters' due diligence practices to cover, at a minimum, all risks in the OECD Due Diligence Guidance Annex II Model Policy, as well as all forms of child labor?

F. 貴社は、製錬所のデューデリジェンスが、最低限、全てのOECDデューデリジェンスガイダンス付属書Ⅱリスク、及び全ての形態の児童労働をカバーすることを要求していますか？

**Yes :** サプライヤーに要求している場合。

**No :** サプライヤーに要求していない場合。

「**全ての**形態の児童労働」は、次期CRT改訂版では、  
「**最悪**の形態の児童労働」に修正されると、FAQに掲載あり。

## 2. CRT記入要領 (Declaration A~I)

G. Does your company conduct raw material supply chain survey(s) of your relevant supplier(s)?

G. 貴社は、関連するサプライヤーの原料サプライチェーン調査を実施していますか？

**Yes :** 調査を実施している場合。

**Yes, Using Other Format (Describe) :**

他のフォーマットで実施している場合。

**No :** 調査を実施していない場合。

## 2. CRT記入要領 (Declaration A~I)

H. Do you review due diligence information received from your suppliers against your company's expectations?

H. 貴社は、サプライヤーから受け取ったデューデリジェンス情報を貴社の期待と照らし合わせて検証していますか？

Yes : 検証している場合。

No : 検証していない場合。

I. Does your review process include corrective action management?

I. 貴社の検証プロセスには是正措置管理が含まれていますか？

Yes : 是正措置管理が含まれている場合。

No : 是正措置管理が含まれていない場合。

## 2. CRT記入要領 (Product List)

### Product List 記入方法

申告範囲が“C: Product”の場合、対象となる製品リストの記載必須

製造者の製品番号(必須): 該当製品のメーカー品目番号を記載  
製造者の製品名: 必要に応じ、品目説明を記入  
備考: 必要に応じ、記載

Manufacturer's Product Number (*)	Manufacturer's Product Name	Comments

製造者の製品番号(*)	製造者の製品名	備考

## 2. CRT記入要領 (Smelter 定義)

### RMIによるCobalt (Co) Smelter の定義 (CRTのDefinitionsは不適正)

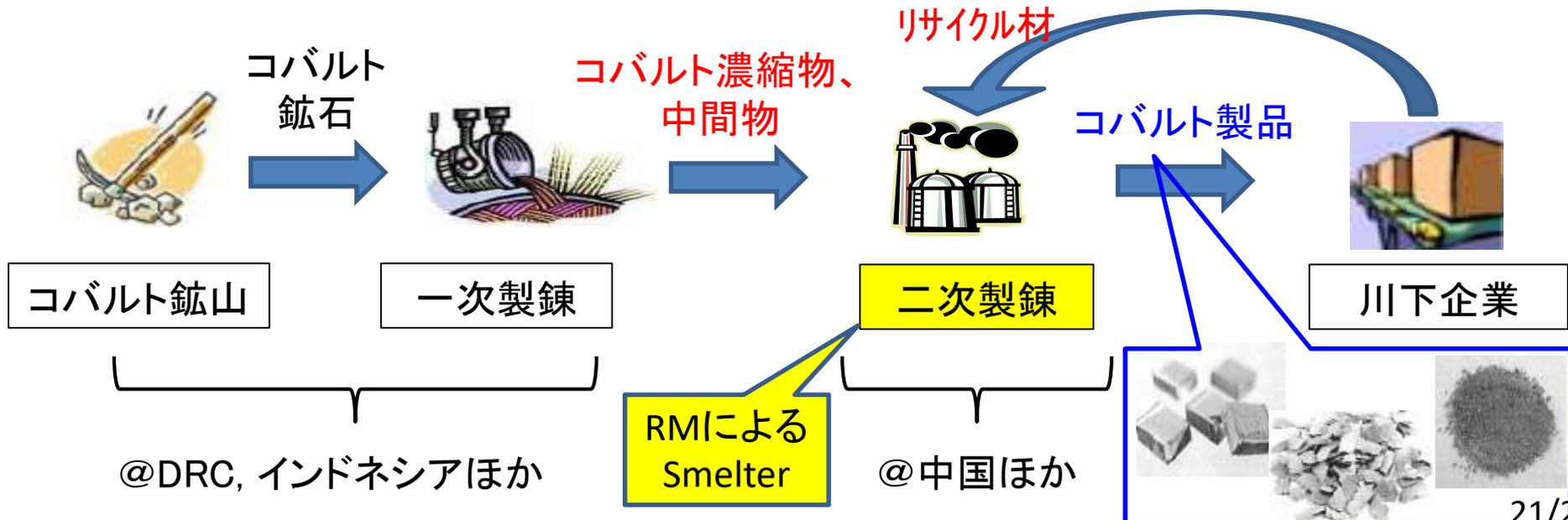
コバルト製錬所とは、**Co濃縮物**、**中間物**又は**リサイクル材**を加工し、川下製造プロセスで直接使用される**コバルト製品**を製造する企業。

コバルト中間物の例： 精製が不十分な水酸化物・炭酸塩・金属

リサイクル材の例： 工業スクラップまたは消費財スクラップ

コバルト製品の例： 電気Co、硫酸Co、Coブリケット、Co粉等

(「製錬所」及び「精錬所」という用語は、コバルトでは互換的に使われている)



## 2. CRT記入要領 (Smelter List)

### Smelter List 記入方法

初めに、エクセルなどを用いた**重複削除**、非SSNの場合の**Webサイト等による製錬所情報のDD**を行って下さい。

①CID番号が**既知**の場合、**A列にCID番号**を入力すると、B, C, E, F, G, I, J列が自動入力されます。**A列にCID番号をコピー&ペースト**することをお勧めします。

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)
Smelter Identification Number Input Column 製錬業者識別番号の入力例	Metal (*) 金属	Smelter Look-up (*) Smelter Look-up 製錬所検索	Smelter Name (1) 製錬所名(1)	Smelter Country (*) 製錬業者所在地:国	Smelter Identification 製錬業者識別番号	Source of Smelter Identification Number 製錬業者識別番号の発行元	Smelter Street 製錬業者所在地:番地	Smelter City 製錬業者所在地:市	Smelter Facility Location: State / Province 製錬業者所在地:州/県
CID003226	Cobalt	Freeport Kokkola		FINLAND	CID003226	RMI		Kokkola	Central Ostrobothnia

本内容は、Smelter List Sheet上段の「TO BEGIN (開始するには)」に記載されています。

## 2. CRT記入要領 (Smelter List)

### Smelter List 記入方法

②CID番号が不明の場合、B列で「Cobalt」を選び、C列で該当製錬所名称を選択すると、E, F, G, I, J列が自動入力されます。

B列、C列にコピー&ペーストすることも可能ですが、C列の記載内容に不備がある場合は、SSNであっても、E, F, G, I, J列には自動入力されません。

また、C列に選択肢がない(SSNでない)場合は、B列で「Cobalt」を選んだ上、C列では「Smelter not listed」を選び、D列に製錬所名称、E列に同所在国名を記載下さい。ここまでは必須です。また、H列～P列も、可能な限り入力して下さい。

③特定できていない製錬所がある場合は、B列で「Cobalt」を選び、C列は「Smelter not yet identified」を選んで下さい。

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)
Smelter Identification Number Input Column 製錬業者識別番号の入力例	Metal (*) 金属	Smelter Look-up (*) Smelter Look-up 製錬所検索	Smelter Name (1) 製錬所名 (1)	Smelter Country (*) 製錬業者所在地:国	Smelter Identification 製錬業者識別番号	Source of Smelter Identification Number 製錬業者識別番号の発行元	Smelter Street 製錬業者所在地:番地	Smelter City 製錬業者所在地:市	Smelter Facility Location: State / Province 製錬業者所在地:州/県
	Cobalt	Freeport Kokkola		FINLAND	CID003226	RMI	0	Kokkola	Central Ostrobothnia
	Cobalt	Smelter not listed				Enter smelter details			
	Cobalt	Smelter not yet identified							

### 3. RMI ウェブサイトの活用方法 (CRT & FAQ)

RMI Home Page: <http://www.responsiblemineralsinitiative.org/>

#### ① CRTダウンロード方法及びFAQ (Frequently Asked Questions) 記載場所

(2018/5/09時点)

トップページの上段タブ「Emerging Risks」を押す。



表示された頁の右にある「Cobalt Reporting Template」を押す。



次のページに続く

# 3. RMI ウェブサイトの活用方法 (CRT & FAQ)

Home | About | Responsible Minerals Assurance Process | CMRT | Training & Resources | Standards Development | Emerging Risks | Events | Members

## Cobalt Reporting Template

RMI has launched a pilot Cobalt Reporting Template (CRT) for the identification of cobalt points and collection of due diligence information from March 2018 to 31 August 2018 and onwards. The objectives of piloting the Cobalt reporting template are to:

- Understand its use/uptake in the supply chain
- Gain insight, collect, and analyze information the CRT provides (e.g., list of cobalt refiners, data on cobalt supply chains, current cobalt risk management practices)
- Identify opportunities to further improve upon the CRT's content, format, etc.

**Download the Cobalt Reporting Template Here**

**Download CRT**

**FOR A LIST OF CURRENTLY IDENTIFIED COBALT REFINERS**

The cobalt refiner disposition process to review and add additional name of a refiner that is not currently on the Standard Smelt Information Questionnaire (CHI | KOR also available). Submit to [hamster@responsiblebusiness.org](mailto:hamster@responsiblebusiness.org).

**Cobalt Reporting Template (CRT)**

English

**This template is part of a pilot project, which runs from 1 March 2018 - 31 August 2018.**

Revisions L15  
March 1, 2018  
[link to Terms & Conditions](#)

The purpose of this document is to collect sourcing information on specified raw materials used in products, specifically cobalt.

Mandatory fields are noted with an asterisk (\*). Consult the instructions tab for guidance on how to answer each question.

Company Information	
Company Name (*)	
Declaration Scope or Class (*)	
Description of Scope	

⋮ ※下にスクロール

## FAQ

### Frequently Asked Questions

- **What is the Cobalt Reporting Template (CRT)?**
  - The Cobalt Reporting Template (CRT) is a free, standardized reporting template created by the Responsible Business Alliance® (RBA®). The CRT facilitates the exchange of information through the supply chain regarding mineral

但し、FAQは、適宜、更新される見込み

# 3. RMI ウェブサイトの活用方法 (Co Smelter List)

## ②-1 コバルト製錬所リストのダウンロード方法

The screenshot shows the RMI website's 'Cobalt Reporting Template' page. The page includes a navigation bar with links like Home, About, Responsible Minerals Assurance Process, CMRT, Training & Resources, Standards Development, Emerging Risks, Events, and Members. The main content area has a heading 'Cobalt Reporting Template' and a sub-heading 'emerging risks'. A blue callout box highlights the text: '前述のCRT帳票をダウンロードする頁の「Download CRT」ボタン右下にある「HERE」を押す。' (Click the 'HERE' link in the bottom right corner of the page where you download the CRT form.) Below this, there is a 'Download CRT' button and a link 'FOR A LIST OF CURRENTLY IDENTIFIED COBALT REFINERS, CLICK HERE.' which is circled in red. A second blue callout box points to the right side of the page, stating: '頁の右にある「Download Data」を押す。' (Click the 'Download Data' link on the right side of the page.) Below this, there is a table of cobalt refiners with columns for METAL, SMELTER REFERENCE, STANDARD SMELTER NAME, COUNTRY, SMELTER ID, CITY, and STATE PROVINCE. A 'Download Data' link with a download icon is circled in red on the right side of the table.

Home | About | Responsible Minerals Assurance Process | CMRT | Training & Resources | Standards Development | Emerging Risks | Events | Members

### Cobalt Reporting Template

RMI has launched a pilot Cobalt Reporting Template (CRT) for the identification of choke points and collection of due diligence information in the cobalt supply chain. The pilot phase will run from 1 March 2018 to 31 August

emerging risks

supply chains, current cobalt risk management practices)

- Identify opportunities to further improve upon the CRT's content, format, etc.

DOWNLOAD THE COBALT REPORTING TEMPLATE HERE

Download CRT

FOR A LIST OF CURRENTLY IDENTIFIED COBALT REFINERS, [CLICK HERE.](#)

The cobalt refiner disposition process to review and add additional cobalt refiners is ongoing. To submit the

Export - All Confirmed Smelters

Grievance Mechanism

[Download Data](#)

METAL ▲	SMELTER REFERENCE	STANDARD SMELTER NAME	COUNTRY	SMELTER ID	CITY	STATE PROVINCE
Cobalt	Freeport Kokkola	Freeport Kokkola	FINLAND	CID003226	Kokkola	Central Ostrobothnia
Cobalt	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	CHINA	CID003227	Ganzhou	Jiangxi

### 3. RMI ウェブサイトの活用方法 (Co Smelter List)

#### ②-2 コバルト製錬所リスト

Metal	Smelter_Reference	Standard_Smelter_Name	Country_Location	Smelter_ID	Smelter_City	Smelter_State_Province
Cobalt	Freeport Kokkola	Freeport Kokkola	FINLAND	CID003226	Kokkola	Central Ostrobothnia
Cobalt	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	CHINA	CID003227	Ganzhou	Jiangxi
Cobalt	Gem (Jiangsu) Cobalt Industry Co., Ltd.	Gem (Jiangsu) Cobalt Industry Co., Ltd.	CHINA	CID003209	Taixing	Jiangsu
Cobalt	Guangxi Yinyi Advanced Material Co., Ltd.	Guangxi Yinyi Advanced Material Co., Ltd.	CHINA	CID003213	Yulin	Guangxi
Cobalt	Hunan Brunp Recycling Technology Co., Ltd.	Hunan Brunp Recycling Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003219	Changsha	Hunan
Cobalt	Jiangsu KLK Cobalt Nickel Metal Co., Ltd.	Gem (Jiangsu) Cobalt Industry Co., Ltd.	CHINA	CID003209	Taixing	Jiangsu
Cobalt	Jiangsu Xiongfeng Technology Co., Ltd.	Jiangsu Xiongfeng Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003293		
Cobalt	SungEel HiMetal Co., Ltd.	SungEel HiMetal Co., Ltd.	KOREA, REPUBLIC OF	CID003338	Gunsan-si	Jeollabuk-do
Cobalt	Umicore Olen	Umicore Olen	BELGIUM	CID003228	Olen	Antwerp
Cobalt	Zhuhai Kelixin Metal Materials Co., Ltd.	Zhuhai Kelixin Metal Materials Co., Ltd.	CHINA	CID003211		

コバルト製錬所は現在9社(随時更新予定)

Smelter Reference(通称)は異なるが、実際には同じStandard Smelter Name(正式名)のところが1つある(CID003209)ため、**実質的には9社**がリストアップされている。

ただし、RMIでは更に10社程度の製錬所を特定中。